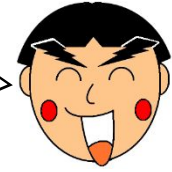


みりょく通信

魅力協
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

みなさん、こんにちは。いかがお過ごしですか。
私は、宇都宮市教育委員会事務局生涯学習課の若林と申します。
今年度から、魅力ある学校づくり地域協議会の担当となりました。
よろしくお願いします。
さて、今回は今年度の上半期に実施した、地域協議会の皆様に関連した研修
会の報告をいたします。ぜひ、今後の活動のためにもご覧ください。



私(若林)の似顔絵です。
研修会ご参加の際は、ぜひ
お声をかけてください。

「河内地区地域連携教員研修兼地域コーディネーター研修」の報告

【参考】研修について

実施日: 6月9日(金)14:00~16:30
場所: 栃木県総合教育センター大講義室
講話: 「鈴木先生直伝! みんなが笑顔になる学校と地域の連携協働の秘訣」
講師: CSマイスター 鈴木 廣志 氏



【概要】まず初めに、コロナ禍での学校現場や地域の現状について、グループで意見交換をしました。
鈴木様ご自身が、栃木市内で公立小学校の元校長時代に体験した、地域学校協働活動の実践例の
紹介、そこで関わったコーディネーターや地域の協力者からの声を活動にどのように生かしたのか
について、また、地域連携をより一層進め、地域とともに歩く学校づくりの大切さ(「地域と学校は
パートナーである」)ことなどについて、講話をいただきました。

参加者アンケートより、「地域コーディネーター」からの主な感想

①「本日の講話を聞いて、今後に生かしたいこと」について

- まずはできることから一步踏み出していきたい。
- 地域の良さを生かして、学校と子どもたちの地域との関係をつなぎ直していきたい。
- コミュニケーションを深めることで、学校と地域を活性化する方向にしていきたい。
- 先生や地域の方々との良い関係を築きたい。
- 同じ協働でも、もう一步踏み込んだ当事者意識をお互いにもった関係性は素晴らしいと思った。
- 学校ともっと心を通わせて、子どもたちのために手を取り合ってやれることを頑張っていきたい。
- 長年コーディネーターをしていて、忘れかけていた初心を思い出すことができた。
- 前の関係を引きずらないで、新しい関係を築くという言葉にハツとした。
- 前任者と比べてしまうことが多々あったように感じた。
- 嘆くのではなく、新しい関係を築く努力が欠けていたことに気づかされた。

②「研修全体の感想(今後希望する研修の内容も含む)」について

- コロナで変わってしまった学校環境は共通の悩みだと感じた。
- 学校の先生や他のコーディネーターと会話ができてよかった。
- ところどころで周りの方と話せる時間をいただけたので良かった。
- 今後、各校で取り組んでいる事例を紹介していただき、参考にしたい。
- 他校での活動状況や、コロナでの活動について意見交換したい。
- コロナ禍で停滞した行事等の復活を、スムーズに行うためのヒントを学びたい。

「魅力ある学校づくり地域協議会関係者研修会」の報告について

【参考】研修について

実施日:10月25日(火)10:00~11:30 場所:宇都宮市役所14階大会議室
内容:①よくある質問の回答(事務局説明) ②情報交換会(グループワーク)

- ・ 標記研修会では、地域協議会及び学校関係者合わせて45名が参加されました。
- ・ 今回の情報交換会では、「地域学校協働活動推進員・委員」のグループと「学校職員(地域連携教員など)」のグループに分かれ、テーマに沿った意見交換を実施しました。
- ※ テーマ:「各地域協議会の上半期の振り返り」と「地域協議会の会議に関すること」

よくある質問の回答 ※ポイントのみ抜粋

- (1) 支出可能な品目について(特に「事務の手引き」8~9ページ「消耗品費」)
 - ・ 年度内の活動に使うものを、無理のない範囲で活動の直前に購入してください。
 - ・ 委託料は、全て使わなければいけないということはありません。翌年度4・5月頃に余った額を返納いただきます。返金額は、翌年度の委託料の増減には影響しません。
- (2) 講師謝金の支払いについて(「事務の手引き」6ページ)
 - ・ 「地域未来塾」に関する講師謝金の支払いに関して⇒新様式「様式10-2」号を使用
 - ・ その他の講師謝金について⇒「様式10号」を使用
- (3) 年度末(2月実施予定)の実績報告等の注意事項について
 - ・ 賃借料の支払いが、年度内に完結するようにお願いします。
- (4) 地域学校協働活動推進員活動日誌の提出について
 - ・ 4月~9月の期間を含んだ、【様式第9号】地域学校協働活動推進員活動日誌のデータについては、10月中の提出となっております。まだご提出をいただいていない場合は、ミライムにて生涯学習課代表宛てご提出をお願いいたします。
- (5) 地域協議会長の変更等、提出書類の様式について
 - ・ 提出書類の様式は、教育委員会キャビネットに格納してあります。
- (6) 携帯電話の使用について
 - ・ 携帯電話本体については、レンタルをして賃借料から支出する場合と、中古品など税込み1万円未満のものを消耗品費で購入する場合があります。
 - ・ 通信料については、通信運搬費から支出できます。ただし、地域協議会の委託料は、年度内に使った分は、年度内に支出が完了している必要があります。多くの携帯電話会社では翌月・翌々月払いとなっているところが多いかと思えます。携帯電話会社を選ぶ際に、年度内に支払いができないか、直接相談をしてみてください。(市から事業者のあっせんができないためと、携帯電話会社の規約が変更となっている可能性があるため)
 - ・ 地域学校協働活動推進員の個人所有の携帯電話を使うことも可能です。どのような方法で携帯電話を使用するのが、負担なく・簡単に・スムーズなのか、各地域に合わせて選んでください。

≪その他の連絡事項≫

- (1) 地域協議会の会議を開催した後、会議資料を使送にてご提出をお願いいたします。書面による開催の場合も、委員の皆様へ送付した資料のご提出をお願いいたします。
- (2) 児童生徒が参加する学校の授業・行事に関しては、謝金等を委託料から支出できません。12月の土曜授業に関係してのご質問をいくつか頂いております。ご注意ください。
- (3) 今後の申請書類及び実績報告書類の提出については、以下のとおりです。

- ・ 令和5年1月末までに、【様式9号】地域学校協働活動推進員活動日誌(データ)
- ・ 令和5年2月上旬～中旬に、実績報告書類及び来年度申請書類(データ・紙)
- ・ 特に、日頃の活動によって作成することになる資料(【様式12号】事業報告書における活動や延べ人数の記載、出納簿の記載とレシート等のコピー、会議・広報資料など)について、少しずつのご準備をお願いいたします。
- ・ 実績報告の際の会計事務に関して、未来の日付で支出予定があっても問題ありませんが、
- ・ 年度内の活動に必要となるものに絞って、支出してください。毎年度、12月以降の多量の消耗品の購入などが目立ちますが、来年度に使用するつものものは、来年度予算で購入してください。

情報交換会での主な意見

情報交換会 テーマ①「今年度の上半期の振り返り」

- ・ withコロナでやり方を工夫して活動してきた。
- ・ 何年も行事ができないと地域と学校のふれあいがないので、学校の文化祭にくるくる市(リサイクル市)として無償で本などを提供した。
- ・ 学校農園に関して、今までは遠い場所にある畑を借りていたが、それをやめて、学校のかだんで、さつまいもを栽培・収穫し、焼きいも作りをしたこと。
- ・ コロナで活動できていない。学校から連絡をいただいてから活動している状況。
- ・ 地域づくりのための人材確保(活用)が難しい。
- ・ 推進員さんが積極的に活動していただき、感謝している。
- ・ 子どもたちがボランティアの人と関わる時以外でも、例えば、地域内で顔を合わせたときに、適切にコミュニケーションがとれるような態度(能力)を学んで欲しい。
- ・ 未来塾開催をする場所の確保について。学校のそばにあれば行きやすいが、離れているとそこまでの安全の問題がある。地域柄もあり、個人で塾へ行っていて開催しても集まらない。
- ・ 皆不安の中で、手探りで活動している。どの様に地域とつながりをもったらいいか。
- ・ ボランティアのコロナ離れを何とかしたい。
- ・ ボランティアの広がりやがコロナ禍で弱くなっている。つながりがなくなり、ボランティアをしてくれる方の情報もなくなる。
- ・ 長年経験したコーディネーターがやめたことによる活動の見直しについて。

情報交換会 テーマ②「地域協議会の会議に関すること」

(1) 年4回程度の会議で、どのようなことが話題となったか。また、協議会として自分たちの役割をどのようなものと考えているか。

【話題となったこと、今後話題としたいこと】

- ・ SDGs について
- ・ 新しい活動として何をしていくか(農園活動, 親学, 不登校問題, 地域住民との交流など)
- ・ 地域とPTAとの連携, 地域と学校との連携
- ・ 地域における伝統行事と学校のつなげ方(コロナ禍においての活動)

【会議開催に関して感じること】

- ・ 書面開催は、意見をいただくのに難しい面がある。オンライン会議にも課題がある。

【協議会としての自分たちの役割に関して】

- ・ 「健康のために学校に行こう」、「子どものため」ではなく「子どもとともに」など、自分にもメリットがあるということを伝える。
- ・ 様々な人を巻き込むため、様々な場所での人材探し。
- ・ 子どもたちは、このボランティアが地域協議会からということを知らないことが多いので、もう少し子どもたちに知ってもらうように活動する。

(2) 会議の内容がどの程度、実際の活動に反映しているか。

- ・ 反映している。活動に合わせて、会議を開催しているため。
- ・ 会議の中で「参加者からの声」があがっていないので、今後の会議に出していきたい。
- ・ 施設に関する話題が上がり、問題点を改善できた。
- ・ 会議において、コロナ禍でできなくなった活動を、コロナ禍でもできる活動に切り替えた。
- ・ コーディネーターさんと地域とのつながりのおかげで、社会体験活動(宮チャレ)の実施先が見つかった。

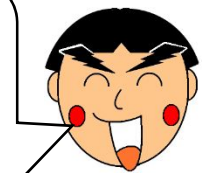
(3) 会議の場での地域協議会側と学校側とのコミュニケーション

- ・ 一番難しい。
- ・ コロナ禍での断絶がある。以前の行事を知らない。
- ・ 会議において意見交換などの発言の場を設定するが、意見がなかなか出ない。
- ・ 学校からの説明(活動紹介等)を、パワーポイントの活用により、地域の理解が得られている。
- ・ 会議の人数が多いため、小会議を開いてコミュニケーションを図る工夫をしている。

参加者アンケートより主な感想

- ・ 各地域での活動が聞けて、とてもよかった。
- ・ 他の学校の悩みや意見を聞けて、とてもよかった。
- ・ 他の学校の情報を聞かせてもらったことが、今後の活動の参考になった。
- ・ 学校ごとに課題は異なるが、他校での取組や活動に関する困りごとなど、充実した情報交換だった。
- ・ 同じ役割(立場)の方々とのグループによる情報交換ができ、とても参考となった。
- ・ 様々な学校の地域の実態が分かって参考になった。
- ・ 同じ立場である教職員でグループ編成をしていただけたので、活発な情報交換ができた。
- ・ もう少し時間が欲しかった。同じ立場の方とお話ができてよかった。
- ・ 私自身がコーディネーターとして不安がたくさんあったので、他校の方々の意見を聞けて、同じ考え、新たな考えなどが分かってよかった。
- ・ 学校、PTAを包括した、地域でできる子どもとの関わり方についての可能性を知りたい。
- ・ 地域学校協働活動推進員の引き継ぎをどうしていくかについて、意見交換がしたい。
- ・ 地域協議会での困り事、失敗例などの事例も知りたい。
- ・ 不登校の生徒の対応、居場所などについて、今後、グループワークのテーマにしてほしい。

情報交換会はとても活発に盛り上がりを見せ、参加者アンケートにおいて、45人中42名が「とてもよかった」と回答がありました。更に、「時間が足りない」「もっと、いろんな方と話がしたい」との声も多かったです。次回の研修会においても、より多くの皆様にご参加していただき、推進員同士、地域協議会同士の「つながり」がたくさん築ける研修会にしていきたいと考えています。今後ともよろしくお願いします。



気になること、分からないことがありましたら、お気軽に生涯学習課までご連絡ください。

宇都宮市生涯学習課 028-632-2679 u4606@city.utsunomiya.tochigi.jp